

令和4年度

幼稚園だより

2月号



文京区立千駄木幼稚園

冬の自然を身近に感じながら

園長 多比良 由恵

千駄木幼稚園の特色ある教育活動の一つに、『自然体験』があります。区内でも貴重な土の園庭で、子どもたちは様々な冬の自然を身近に感じたり、遊びに取り入れたりしています。

- 雪が降りそうなくらい寒い日、水を張ったタライを用意しておくのと、翌日の朝、分厚い氷ができていました。薄い氷ができる日、厚い氷ができる日、氷ができない日、・・・いろいろ試して、実験しています。



「氷ができたよ！」

- 朝、土の上には氷や霜柱ができています。「どこにできているのかな？」・・・園庭の真ん中？ すみっこ？ 畑？ 裏庭？ チャレンジ広場？・・・見つけたら手で触って冷たさを感じたり、足で踏んで「ザクザク」とした感触を味わったりしています。



「土の上に霜柱と氷がいっぱい！」

- 文林中学校の校庭で、凧揚げをさせてもらいました。「どうしたらもっと高く揚がるかな？」と試しつつ、冷たい風を頬に感じながら思い切り走りました。特色ある教育活動の『運動遊び』や『地域との交流』の機会にもなりました。



〈年中組：ぐるぐる凧〉



〈年長組：ビニールを切って竹ひごを付けた凧〉

このように、自分で試したり、触れたり、走ったりなど、五感や全身を使ってやってみる直接体験は、子どもたちの心を豊かにします。そして、大きくなっていく過程の中で「これ、やったことあるよ。」「知ってる。こうするとうまくできるんだよ。」と自信をもって表現したり、次の挑戦へとつながったりしていきます。冬の今しかできないたくさんの直接体験を大切に、3学期を元気に過ごしていきたいと思います。